

「胎内市生涯学習施設整備基本計画（案）」に対して提出されたご意見及び胎内市の考え方

(令和7年10月1日～同年10月31日意見募集)

No.	該当箇所	提出されたご意見	胎内市の考え方
1	P13～17 2. 施設の諸室・機能構成	<p>市民参加型ワークショップで求める設備・機能を参考に必要な機能をレイアウトし考えた施設設計となっていますが。</p> <p>質問1・今後見直ししていくとはありますが、やはり予算ありきで無いと維持管理費、修繕費が重くのしかかると想像できるので、選択と集中はしなければ、施設は立派にできたが、市民税が上がるようでは誰のための施設なのか？本末転倒となるので、予算を30億円以下に設定しては？</p> <p>三条市と五泉市の複合施設の建設費は25億円とありました。</p> <p>質問2・コンパクト設計でも創意工夫すれば、利用者にも納得できる施設になるのではと考えるがその点は今後どう市民と折り合いをつけていくのか？</p> <p>質問3・乙、築地、黒川地区の図書館や公民館機能は既存施設の活用とあるが、この3地区の施設の更新及び修繕は先送りになってしまうのでしょうか？</p> <p>多世代交流拠点が中条地区に出来ればそれでいいとはならないですが、3地区も予算確保（財源を明確にし根拠も）し同時に整備するのが胎内市民にとって一番いい選択だと思うのですが？</p>	<p>建設費には、設計、工事、システム構築、備品等に係る経費をすべて含み、今後の物価上昇を勘案した金額を上限として示しています。基本構想に基づき、施設の機能に必要な諸室・スペースの面積を積み上げ、想定される延床面積に基づいて算定しています。今後の設計段階においては、必要な機能を確保しつつ、規模を一定程度コンパクトにする方向で検討してまいりますので、建設費の縮減が可能であると見込んでいます。</p> <p>なお、現在の建設費は、資材や労務費の高騰により、m²単価が近年上昇している状況にあり、既存の類似施設との建設費をそのまま比較することは難しい状況です。</p> <p>施設機能の共有や効率化を図りつつ、設計者のアイデアや提案を柔軟に取り入れ、構想に基づく必要な機能を確保していきたいと考えています。</p> <p>乙・築地・黒川の現在の施設は、引き続き必要な修繕や設備の更新を行っていきます。</p>
P18	3. 建設に求めるその他の性能 ⑤安心安全の確保について	<p>災害時には周辺地域の避難所として機能するとありますか？</p> <p>疑問1・周辺地域とはどこまでを想定しているのか、胎内市中心部全域なのか？</p> <p>疑問2・実際災害時避難には、車でなく徒歩が多くなると（地震等で道路が使えない）嘉平山迄徒歩での避難はかなり難しいのではと想像する。</p> <p>ましてや豪雪時に避難は不可能ではと、坂があり高齢者が徒歩での避難には危険であると思われるでの、避難所としては不適切な場所では？</p>	<p>防災拠点としての機能を設け、各候補地周辺は、中条小学校、サンビレッジ中条、中条中学校、産業文化会館、胎内小学校、ぶれすぽ胎内、B&G体育館の指定避難所が点在するエリアですので、これらの施設を踏まえ、避難所としての役割にも配慮していきます。</p> <p>市民の皆さまがご自身の状況に合わせて最寄りの避難所をご利用いただけるよう、当該エリアには複数の避難所を設置しています。新たな生涯学習施設についても、避難所としての役割や環境について、配慮していきます。</p>
P19	5. 建設候補地について	<p>質問1・胎内市立中学校準備委員会における検討内容と整合を、とありますが、統合準備委員会だよりには、中学校建設候補地が中条中周辺とぶれすぽ周辺とあるが、中条中周辺がメインとなっているようだが、これは生涯学習施設を旧体育館に建設は難しいと決めつけさせる方向に、はなはだ疑問が生じる。</p> <p>検討委員会の皆さんのお意見を否定しているのでは決してありません、真摯な討論で、妥当な判断だと承知していますが、行政の進め方には？です。</p> <p>質問2・新設統合なら、場所は旧柴橋小学校、嘉平山も候補地に挙がっても良いのではと疑問になるし、生涯学習施設を建設できるなら何ら問題もないし、まして道路も広くなるのでいいのではと思うが？</p> <p>質問3・そもそも統合中学区になれば、バス通学が基本となると思うし、中条地区も全員バス通学に変更すれば、嘉平山も候補に入ると思うし通学の安全性、学習環境、騒音対策も全て兼ね備えている、いい場所だと思います？</p>	<p>あくまでも統合中学校の候補地の一つとして挙げている段階であり、万一重複が生じた場合には、敷地の確保が難しくなる可能性があります。そのため、胎内市立中学校統合準備委員会での検討内容と整合を図りながら、適切に情報を共有しながら検討を進めていきます。</p> <p>繰り返しになりますが、中学校の統合に関しては、胎内市立中学校統合準備委員会での検討内容と整合を図りながら、適切に情報共有しながら検討を進めていきます。</p> <p>繰り返しになりますが、中学校の統合に関しては、胎内市立中学校統合準備委員会での検討内容と整合を図りながら、適切に情報共有しながら検討を進めていきます。</p>
P20	建設候補地の比較表	疑問1・周辺道路が狭くとあるが、狭いとは道路幅何m以下を言うのかと法的根拠を示して欲しい。（行政では一般的に4m以下を狭い道と表現しているようだが）	施設敷地内への車両の出入りを想定し、周辺道路が歩行者に配慮しつつ、自動車が容易にすれ違えるかどうかを基準に判断しました。今後の審議会においても議論の対象にな

No.	該当箇所	提出されたご意見	胎内市の考え方
	施設周辺の渋滞を招きにくいかについて	<p>疑問2・周辺道路が狭いの表現は抽象的表現で、何m以下だから、大型バスは入れないとか客観的事実でなければ、狭いという表現で市民を誤解させようとする事になるのでは。</p> <p>疑問3・中央公民館周辺で新施設の出入りにより渋滞が生じやすいとあるが？ 旧町体育館のときと、道路幅は変化はありませんが、旧体育館イベント等や大会も開催されましたが、渋滞や交通事故の事例があったのでしょうか？ どんなに広い道路でも設計上の交通量をオーバーすれば渋滞はおきます。 嘉平山には渋滞の心配が少ないとあるが、全てにおいて憶測の領域を出てません渋滞を招くの表記は削除すべきで、嘉平山優位の印象操作はいがめない。 渋滞が生じやすいとは、交通工学に基づいた検証と結果を示すべきではないのでしょうか。リスク管理として渋滞を予測し表現しなければいけないことは理解できますが、疑念を払しょくには至らない。</p>	るものと考えています。 今後の検討や運営の参考にさせていただきます。 当該事項については、一定の考慮はいたしております。
P20 建設候補地の比較表 十分な駐車台数の確保が可能かについて		<p>疑問1・中央公民館周辺は統合中学建設で駐車場の確保がとありますが、周辺に駐車場を確保し（市役所、旧ウオロク等）高齢者・子供は近くに駐車し、それ以外の人は徒歩で来場してもらえばいいのでは、そうすれば問題は解決される。</p> <p>質問1・他市町村の施設でも、近くの駐車場を利用してもらうことは普通ですし、確保が難しいと、決めつけず解決策を見出して行くのが一般的な常識であり、行政はそれすら出来ないのであるのか？</p>	一般的に駐車場は近傍ではなく、隣接していることが理想であると考えています。
P22 概算事業費		<p>疑問1・事業費 45 億円は建設費だけだと思いますが、嘉平山のインフラ整備に何億円かかるのか、またその内訳を記載されていない。（概算でいい）</p> <p>質問1・洋上風力発電の固定費？が年間 10 億円見込めるから、最大とはいえ 45 億円はかなりである、それよりも規模を 30 億円に縮小し、小中学校の給食無償化、エアコン整備、小学校卒業まで医療費半額負担、等、これからの中を支えてくれる子供たちにお金を使うべきと思うが。</p>	概算事業費の内訳は、設計、工事、システム構築、備品その他に係る経費をすべて含み、今後の物価上昇も勘案した合計の金額（上限）を示しています。うち嘉平山のインフラ整備費としては、現時点で 3 億円程度を見込んでいます。
-		<p>最後に、生涯学習施設建設を反対しているわけではありません。 大いに賛成ですし、なるべく早く建設をと思っていますが、行政の進め方や市長の発言により、混乱を招いていることはいがめないと感じます。 今回のパブコメで何人の方が公募されるかは分かりませんが、意見は真摯に捉え判断してもらいたいです。 民意を問いたいなら、住民投票実施すればいい、そうすればハッキリする。 費用対効果の面で疑問ですが、市長が言う大多数の意見を求めるなら、何らかの方法で実施すべきと考えるがどうでしょう？ 最後に今回のパブコメの文章は訂正はしませんので、全文掲載願います。</p>	-
2	意見公募要領書 2. 意見公募の趣旨・目的・背景・前段6行 (要約) 胎内市は「胎内市生涯学習施設整備基本	今回の計画（案）が、前回のパブコメ結果を踏まえて見直したとは思えません。 敢えて述べると「見直し」の端緒は先の計画（案）で、他の候補地を伏せたまま「建設候補地は嘉平山」と決め打ちしたために生じた課題・問題を解消したいためと推察します。	分かりにくい点があったかもしれません、あくまで候補地としてお示したものであります。 あり、様々な意見を踏まえた上で見直しを行ったということに尽きます。

No.	該当箇所	提出されたご意見	胎内市の考え方
	計画（案）」を取りまとめ、前回、R7年4月17日から6月17日までパブコメを実施した。今回はその結果を踏まえて見直した計画（案）について改めてパブコメを実施する。		
P10 2. 整備方針・文末3行（要約） 新たな施設を中心地市街地以外に建設する場合は、現在の中央公民館や図書館が担っている施設の機能は既存施設の活用等も含め、引き続き維持していく。	本案は前回のパブコメ実施中に市長が唐突に提案したもので、パブコメ結果を踏まえた内容ではないと思います。 失礼を承知で述べますが「建設候補地は嘉平山」に否定的意見の最少化を図るための奇策だと思います。もし、実際そうなった場合の事業費や運営費が、どうなるのかと心配になります。風力発電税が入る、などと豪語している場合ではないと思います。結論から言うと中心市街地以外筆頭の嘉平山は最悪手だと思います。	意見は意見としてお聞きしますが、前段は偏見による邪推と思われます。 嘉平山は中条駅から直線で1km程度と中条駅を除いた他の候補地よりも近く、幹線道路にもアクセスしやすい場所にあり、近隣に民間の商業施設や住宅もあります。したがって、中心市街地の定義ははっきりしないものの、コンパクトシティの考え方からも全く外れているわけではなく、市街地から遠く離れた場所ではないと捉えています。 なお、当初嘉平山を有力な候補地として挙げていましたが、まだ決定したわけではなく、場所については様々な意見をお聞きしながら決めていきたいと考えています。	
P12 1. 配置計画 前文 敷地を有効に活用し…以下の点に留意する。	建設地（敷地）が設定されていない現時点で、敷地活用とか配置計画を述べることは無意味だと思います。	建設候補地の選定に先立ち、基本構想に基づき、施設の整備にあたり留意すべき事項を示したものです。現時点では候補地が確定していないため、具体的な敷地活用や配置計画について詳細を述べることは難しいものの、候補地選定の方針として重要な要素の明示を意図しています。	
P19 5. 建設予定地 文末5行（要約） ①これまで次表の5候補地について検討してきた。 ②建設予定地は、審議会を設置し、諮問・答申を経て最終的に決定する方向だ。 ③加えて胎内市立中学校準備委員会における検討内容との整合を図りながら方向づけを行う。	①前回のパブコメでは建設候補地に係る多くの意見を受けての開示だと推察しますが、前回の計画（案）で嘉平山以外の候補地を伏せた理由を教えてください。 ②審議会は議会質疑のなかで市長から唐突に提案されたもので、パブコメによるものではありません。付け加えると、不特定多数の市民（市外の方も）が利用する施設建設地の決定を、少数のメンバーで構成する審議会に委ねること自体に納得がいきません。敢えて述べると建設地決定を嘉平山に誘導するための装置では、とさえ思ってしまいます。 さらに述べると、事務局が作成した諮問に、事務局が作成した答申案を検討して仕上げる答申（決定）では市民からの納得が得られないと思います。 ③前回のパブコメによる多くの建設提案地が旧体育館跡地・中央公民館周辺、通称「文教エリア」だったのだから、その方向で計画すべきです。 市長は統合中学校建設候補地となれば消去法で学習施設建設はあり得ないと主張していましたが、果たしてそうでしょうか。例えば交流施設は、雨天中止を気にしないでイベント開催可能な規模にして分離建設するなど、工夫次第で両立は十分可能です。極論すれば統合中学校は、単独で議論できるので嘉平山を含めどこでも候補地に成り得ると思います。	あえて伏せた意図はありません。補足として、改めて比較表をお示ししたものです。 市民説明会やパブリックコメントなどでいただいた多様な意見を望ましい方向に集約し、市に対して答申を行うための審議会を立ち上げるものです。専門的な知識を有する方や施設利用者、公募による委員などに多角的な視点から議論いただくことは必要であり、重要であると考えています。市民の意見を反映しつつ進められるべきプロセスであり、事務局の考えを承認いただく場ではありません。より透明性のある環境で議論を尽くし、的確な提言をいただきたいと考えています。	
P20 P21 建設候補地の比較表	1. 本表を市民に提示してアンケートを実施してください。 2. 示したメリット・デメリットの納得感を得られるよう市民対象の現地説明会を実施してください。 3. もって市民協働を大事にして進めましょう。	アンケートについては、単なる個人や地域の希望という視点ではなく、最大公約数的な考え方等を基底にした捉え方でなければならず、その結果をどう評価し、どう方向づけを行うことに対するべきか十分に考えていかなければならないと考えています。	
P22 6 概算事業費 45億円程度	1. 概算とはいえ45億円程度は、いかにも漠として、かつ高額で説得力がありません。しかも嘉平山を候補地とした前回計画（案）と同額は納得できません。	概算事業費は、基本構想に基づき、施設に必要な諸室・スペースの面積を積み上げて算出した延床面積に基づいています。建設費の内訳には、設計費、工事費、システム構築費、	

No.	該当箇所	提出されたご意見	胎内市の考え方
		2. 事業費は候補地選定の重要な選択肢です。前述した候補地の事業費も提示してください。 3. 中条小学校改築事業費は当初予算積み上げで約 45 億円でした。箱物の規模として「こんなものか?」と思いました。	備品費など、すべての関連経費が含まれており、今後の物価上昇も考慮した上で算出した合計金額（上限）となります。したがって、建設地がどこに決定しても、本概算事業費を最大値とし、設計者のアイデアや提案を取り入れつつ、効率化や縮小化を図り、可能な限りコスト削減に努めています。
3	9P 「7新しい施設に求める市民の要望」について	令和元年に行なったワークショップの意見では情報が古いと思う。 施設に求めるものについても生涯学習施設に不釣り合いなものもあり、また、今一番求められている室内遊戯広場などもない。	新たな生涯学習施設のコンセプトについては、現在の社会的なニーズや市民の声を踏まえ、再度確認・精査した上で策定しています。 そのため、当初のコンセプトは依然として有効であり、決して古くはないと考えています。また、室内の遊戯広場についても、子どもが遊べる屋内スペースとして必要な諸室・スペースに含まれています。
	10P 「新たな生涯学習施設の整備方針」 2 整備方針について	中心市街地外に建設の場合、既存施設の活用・引き続き維持とあるが、老朽化したから新施設を計画したのではないのか? これらを新たに建て直すとするのであればそれも含めて 45 億円なのか？別予算となると、中心市街地外の建設候補地 1・4・5 にはその旨も付け加える必要があるはずだが。一律はおかしいと思う。	新たな生涯学習施設の整備は、市全体、すべての市民を対象とした施設として検討を進めており、現在の中央公民館と図書館の単なる代替ではなく、交流機能を含んだ複合施設です。確かに、中央公民館と図書館は市の主要な社会教育施設として機能しており、その現状や課題をもとに、新たな生涯学習施設整備に向けた検討が行われてきました。 そのため、本基本計画（案）は、すべての市民を対象とする新たな施設整備を目的としており、現在の中央公民館と図書館のその後の取扱いとは直接的な関連はありません。 しかしながら、これまでのパブリックコメント等で「徒歩で行ける場所に建設を」というご意見もいただき、これを踏まえ、すべての市民を対象とした本基本計画（案）の意図が十分に伝わっていない部分があると認識し、既存施設の機能を維持する方針を補足として新たに説明を加えました。
20P 「建設候補地の比較表」について	・統合中学校がこの場所になった際、どのみちスクールバスの乗り入れ状況を考えて道路拡幅などするはずである。そう考えるとアクセスの欄の“周辺道路が狭い”等の理由は、この候補地を否定する材料としているように見えるが。 ・嘉平山は他候補地と比べ唯一の国道 7 号線より山側の候補地であるが故、平場より熊や猪等の獣害被害が心配と考える市民は多いと思うが。対策案を挙げるのは必要ではないか？ ・旧柴橋小学校は、裏の農道を格上げして拡幅することで問題が一気に解消できると思う。 ・避難所としても活用するのであれば、柴橋地区としてはありがたいのではないか？災害時に山場へ避難する人がいるのか？ この計画内容が本当に地域のため・市民のために沿っているか再度検討をお願いしたい。	今後の検討や運営の参考にさせていただきます。	
4	9P ・交通の便が良くわかりやすい場所・市内の中心地（車の運転ができない人が多いため）・駅の近く（待ち合わせ場所となる）又は駅直通・中央公民館、旧町体の場所（道路整備しアクセス向上させる）・市役所の近く・ふれすぽ（総合体育館）付近・公園内に建設・学校の近く・図書館と集会スペースは駅の近くで公民館とスポーツ施設は広いところ	上記項目は整合性がない。市内の中心地はどこか。人口密度の高い地域なのか。それとも商業地として発展しているところなのか。駅から本町通り、東本町に抜ける旧 7 号線地域はもはや現在の中心地ではない。かつての中心地である。旧中条町が形成される過程(明治か大正か)では、誰も現代のモータリゼーションを想定していないので、これは致し方ない。ある一定距離以上はクルマ移動が基本である。今回の多機能型生涯学習施設は、広大な敷地が必要である。案では、駐車場がウォロクと同規模の 250 台となっていた。この規模でイベントを開催するとなると、旧中条体育館や中条駅、柴橋小学校跡地はアクセスの点で除外される。中条中学校通りに、100 台レベルのクルマが行き来することがどれほど危険なことか。道路整備というが、ほぼ旧本町通りに至るまで拡幅しなければならない。不可能である。嘉平山は 4 車線の R7 バイパスに隣接し、関沢口に中条駅から直進移動で約 800m、中条 IC から約 4.6km で、1,000 人単位のイベント用地の確保も容易である。これ以上の適地はない。	上記項目は、市民参加型のワークショップで出された意見をまとめたものであり、そこでは場所に関する協議は行われていませんでした。 今後の検討や運営の参考にさせていただきます。

No.	該当箇所	提出されたご意見	胎内市の考え方
	10P 「なお、新たな施設が中心市街地以外に建設される場合には、中条地区においても、乙、築地、黒川などの他の地区と同様に、現在の中央公民館や図書館が担っている施設の機能（役割）は既存施設の活用等も含め、引き続き維持していく方針とします。」	市の説明会で、計画案通りに施設が実現した後「現行の図書館と公民館を残すのか？」といった質問があったが、これらの施設を1箇所にまとめる必要性はない。多くの大学は中央図書館の他に各学部に図書館があり、さらに各大学院にも図書館がある。キャンパス内に、複数の図書館が設置されている。むろん、蔵書も重複している。つまり、書籍・論文が必要な者に容易に提供できるようにデザインされている。市の図書館もいざれかの図書館を充実させるととも、需要の高い書籍を各地の図書館にストックしておけば、トータルでの利便性は向上する。かくして、現行の市の図書館や公民館は、維持可能ならば、「第一図書館」「第二図書館」…として存続させればよい。	第一、第二の区切りではないにしても、エリアごとの施設については考慮に入れています。
	11P 「地震・台風・洪水・土砂災害など、自然災害への備えについて学び、災害が発生した際に被害を最小限に抑えるための防災教育の拠点として、地域の防災機能を向上させることを指します。」	建設地が確定していないので、「生涯学習」の中にコンテンツとして「防災教育」を組み込んでいるが、候補地が決まった後には、当該地施設が災害時の避難場所になるだろう。そのとき、被災するような場所では用をなさない。具体的には、標高の低い候補地は避けるべきである。柴橋小学校跡地は約11m、プレスボ体育馆前16m、中条体育馆跡地22m、中条駅17m、嘉平山40m(最高地点)である。なお、本町交差点は19mだが、8.28水害の経験から、上記のいくつかの候補地は水害が避けられないことがわかる。付言すると、R7バイパスの山側に位置する野中・羽黒・半山・飯角・関沢・長橋・星の宮・船戸地域の人口と世帯数は、中条エリアの概ね20%になる。この地域が豪雨で被災すると避難が困難になる。とくに、半山や飯角、関沢には船戸川があるので、市指定の中条小学校やぷれすぽに行けなくなる。嘉平山はこれらの地域から3~5m程度の高さであり、避難地として最適である。	今後の検討や運営の参考にさせていただきます。
	13-14P 交流施設機能	2028年のロス・オリンピック種目になるフラッグフットボール用地を確保したらどうか。フィールドは正式でも60m×30m程度で済むし、幸い当市にはディアーズがいる。社会人チームはアメフト普及のためにフラッグフットボールの指導には熱心である。将来、ディアーズの練習フィールドになると思われる星の宮と嘉平山は近い。この候補地が選択されれば、同施設はスポーツ教育エリアにもなる。嘉平山は、ひとたび施設が完成すれば、アクセスの良さと利便性、応用可能性の点で合目的的であることが理解されるであろう。各種イベント用地、健康公園、避難場所、太陽光発電用地、ヘリポート、道の駅機能を持たせた商業地、ミニ・スキー場、市の観光資源のシンボル等、多様な可能性を秘めているが、嘉平山以外にそのような発展性はない。	今後の検討や運営の参考にさせていただきます。
5	P20 建設候補地の比較表	<p>建設候補地の比較表についての意見及び評価【別紙1】</p> <p>「胎内市生涯学習施設基本計画（案）」（見え消し版）の比較表において設定された比較八項目に加えて、次の六項目を加える必要があると考えます。</p> <p>その上で建設候補地のうち②中央公民館周辺と④関沢地内それぞれについて意見を述べて比較して評価しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりのあり方 ・利便性と交通弱者などへの配慮 ・コスト削減 ・安全確保 ・防災機能 ・市民の意向 <p>2. 建設場所の選定についての提言【別紙2】</p>	今後の検討や運営の参考にさせていただきます。

No.	該当箇所	提出されたご意見	胎内市の考え方
		1の比較と評価を総合的に勘案して建設場所は「②中央公民館周辺とする」ことを提言するものです。	
6	P1 L15 人口 20 年後の推移 P7 L22 利用者実質 R 5 P8 L1 利用者年代内訳	→ 20%減 → 約 400 人。(人口 2 万 6 千人とした場合 1.5%) → 60 代以上が利用者全体の 50% (20 年後は 80 代以上)。 ・以上の事から 20 年後の利用者は約 160 人と予測される。 ・更に、年々減少の一途を辿ると予測される。	今後の検討や運営の参考にさせていただきます。 なお、図書館、交流施設、公民館の機能を一体的に整備し、施設を複合化することで、それぞれの機能が連携し、より効果的な活用を目指しています。これにより、現在の利用者に加え、子ども・子育て世代を中心に多世代が集う交流の場を創出し、さらなる利用者の増加を目指します。
	P8 L15 (1) 中央公民館の課題 二間続きの和室	・畳の部屋について、二間続きを用途に応じ、大広間か仕切るかの整備に賛成。但し、利用は、「P13 ①公民館機能、和室、お茶・お花・着付けなど」に限って良いと思う。現在の利用者数と将来の利用者数を加味し、必要な広さを再度検討して欲しい。例えば、床面の会議室を、お稽古ごとの時だけ、簡易畳を敷いて利用する等。(簡易畳を敷くのは職員が手伝うとか) ・和室はあると便利だが、会議などでの利用は、会議室を使用することで賄えると思う。昨今の高齢化で、膝が悪く椅子でないと座れない方が多い。町内会でも洋式化されている。そもそも各町内会には交流館がある。畳部屋は需要に合わせて他施設との重複を避けたい。	今後の検討や運営の参考にさせていただきます。
	P8 L17 図書館の課題 P9 L14 図書館施設に求める物 P11 L4 整備方針	・一貫して現図書館より広いスペースと蔵書増を謳っているが、そもそも利用者は全市民の約 1.5 %である。意見者は更に僅か。僅かな意見で決定するのは危うい。小中高大学校の生徒&保護者にアンケートを取るなどして、今後の需要度合いを測って欲しい。 ・現在、全市民の 9 8 %は利用していない=需要が無い。 ・幼小中高大学校は、それぞれ図書室が充実している。 ・現図書館を活用しながら、新施設は移動図書館や電子書籍化などに移行した方が、子育て世代や高齢者がより利用しやすい。近未来型図書館の先駆けになるような整備を。 ・近隣(新発田、聖籠、村上)の図書館に時々行くが、いつも閑散としている。座席 7 0 席あっても 5 ~ 6 人しかいない。AV 機器が 4 台あっても、使用している人を見たことが無い。わざわざ旧式の図書館を建てて無駄にならないように。 ・聖籠町では 1 0 年以上前から移動図書館を実施している。便利。 ・今はネットで読み放題などのサービスがある。医療や趣味、図鑑などの情報はネットで最新を知れるし、料理や裁縫関係はネットの動画が分かり易いし、外国語の辞書関係は発音も聞けるし、全て無料である。 ・電子書籍は紙媒体と同価格である。電子書式化は、今後購入する本のみで良い。現存の書籍は電子化する必要は無い。 ・現存の書籍は殆どが古く、新図書館に展示するのもどうかと思う。特に辞書などの学習関係は使えない。 ・紙媒体の書籍は、絵本や雑誌などの限定して良いと思う。	今後の検討や運営の参考にさせていただきます。
	P9L18 移動図書館	・今から運営したいところ。1台だけ試行する。問題点などを踏まえ、新設時に本格始動できるように。地域の公民館を巡回する等。今、時代の流れが移動式になっている。 ex)大型スーパーや百貨店→コンビニ→移動スーパー。新図書館は敷地を増やす等、時代に逆行して	今後の検討や運営の参考にさせていただきます。

No.	該当箇所	提出されたご意見	胎内市の考え方
		<p>いる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聖籠町の移動図書館車（仕組みや機材など）を参考にしてはどうか。 ・建設費を削減し、その分を移動図書館車の購入に充てる。 	
P10L13 費の負担軽減 単なる既存機能の更新にとどまらず	L22 既存の施設の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・紙媒体書籍は、既存の図書館で暫くはそのまま運営することとし、図書館は、全国に先駆けた、モデルケースになるような、斬新なアイデアで、紙媒体の殆ど無い、近未来型図書館の実現を期待する。 ・20年後30年後の市民に、この時の判断は英断だったと言われるような、出来るだけコンパクトな図書館にして費用を削減してほしい。 	今後の検討や運営の参考にさせていただきます。
P12L8 3 整備手法 PPP/PFI 従来型の入札契約方式		<ul style="list-style-type: none"> ・PPP/PFIを初めて知った、とてもいい手法と感心した。希望社が少なく残念。結果、市の税金なので、一層のコスト圧縮をお願いしたい。 	今後の検討や運営の参考にさせていただきます。
P12L15 1 配置計画 ①ゆとりある空間	②周辺環境の保全・調和	<ul style="list-style-type: none"> ・余裕を持った敷地配置が望ましいが、コンパクト化の方針から矛盾する。HOTHOTの1階に子育て世代や多世代が集まり易い環境にあり、広く余裕ある空間になっている。重複は避けたい。 ・環境保全は大事。嘉平山は熊が出るので危ない。人が近づけない。 ・学びの場としては、新中学校も併設出来るのが理想的。 	今後の検討や運営の参考にさせていただきます。
③利用者の導線		<ul style="list-style-type: none"> ・ふれすぽ周辺であれば道路も広く、物流の拠点となる中条インターからも導線が良く、駐車場が既にあるため経費が節約でき、理想的といえる。中心街から離れるが、のれんす号や移動図書館の利用、既存の施設を並行して利用など、工夫すれば良いと思う。 	今後の検討や運営の参考にさせていただきます。
P13L4～L7 高齢化の進行や人口減少、ライフスタイルの変化、将来の社会変化に対応、持続可能性、可能な限りコンパクト、建設・維持管理コストの圧縮		大賛成！移動図書館に大幅移行する。	今後の検討や運営の参考にさせていただきます。
P13L11 ①公民館機能 会議室		<ul style="list-style-type: none"> ・1つの大部屋で可動間仕切りを使用する方法に賛成。テーブルや椅子も移動しやすいモノにし、軽運動などが出来るようにする。多目的に多様に利用できるシステムはとてもいい。 ・加えて、学習室にも開放できるようにしてはどうか。中高生のテスト前や、（土）（日）など。平日は、中高生は16時頃から使用する。平日でも日中でも、会議室が空いている場合は、学習室も兼ねる方向で。そして、図書館機能における学習スペースは無しで、雑誌コーナーなどのラウンジコーナーに少量のソファ程度で良いと思う。 	今後の検討や運営の参考にさせていただきます。
P13L16 L20 ①公民館機能 会議室、ホール講堂		<ul style="list-style-type: none"> ・音響、照明、映像機器もあったに越した事はないが、既に産業文化会館に揃っているが、頻回な利用は無い。重複は避ける。 	今後の検討や運営の参考にさせていただきます。
P13L31 ②交流施設機能		<ul style="list-style-type: none"> ・催事、展示、ワークショップなども、あるに越したことはないが産業文化会館やふれすぽ、市役所などで充分と思う。足りないと思わない。需要に合わせて重複を避ける。 	今後の検討や運営の参考にさせていただきます。

No.	該当箇所	提出されたご意見	胎内市の考え方
交流スペース P14L6 ③図書館機能 P15L3 ④共有部・事務室 P18L20 ⑥施設規模の検討 施設機能の共有化 床面積の効率化 建設費用の低減	・室内遊具施設や子ども広場はあってもいいと思う。昨今の温暖化で四季→二季により、屋外遊具施設は不要と思う。		
	・全て在るに越した事は無い。しかしP13の方針を貫いて現実的に。 ・閉架庫と倉庫を兼ねる。倉庫が広いとゴミ屋敷になり逆効果。小まめに紙ゴミなどを出し、整理整頓に心掛ければ良い。閉架庫は将来的に、紙媒体を減らす方向で考えれば、最小限にして無駄を省く方が良い。 ・給湯室、トイレ、授乳室は、全館共通にし、図書館には含まない。寧ろ、事務室・カウンターが図書館と兼ねられると無駄がないと思う、きのと交流館のように。(紙媒体がほぼ無いことが前提。)	設計者のアイデアや提案を取り入れるとともに、施設開館後の運営においては、民間事業者のノウハウとの連携も視野に入れ、柔軟に検討を重ねることで、実用的な施設の実現を目指します。	
	P15L22 ⑤その他 駐車場	・ぶれすぽの駐車場はガラ空きで勿体ない。イベントがあっても満車を見た事が無い。現在もラインの引き直しは半分の面積だけ。残り半分はラインが消えたまま→需要が半分しか無い証拠。	今後の検討や運営の参考にさせていただきます。
	⑤その他 周辺広場、芝生広場、憩いのスペース、遊具	・HOTHOT や他の公園でも、屋外子ども用広場は十分あるが遊んでいる子はほぼ見ない。韓国によくある、成人用の健康器具を置いた方が良いのでは。 ・芝生の管理は非常に経費が掛かる(除草剤、水道代、芝刈り人件費等)。周辺は出来るだけ簡素にし、花壇などの自然物は無くしたい。常に管理しないと、猛暑で花は枯れ、草だらけとなり、逆に見つとも無い。 ・昨今の気象状況で夏と冬の二季である。(5月から夏日、10月厳しい残暑の後の急激な寒さ。)屋外で寛ぐ事が難しい時代と言える。室内の遊具施設は無いので需要があると思う。図書館を大幅に縮小し、その分を遊具スペースに充ててはどうか。	今後の検討や運営の参考にさせていただきます。
	P17 機能検討図	・既存の図書館活用を前提に、新設では、①ラウンジコーナー②子どもエリア(ガラスなどで仕切る。)③学習スペース&PCコーナーの3つに絞る。他は思い切って無くす。但し、学習スペースは、少しで良い。そして空いている会議室を学習者に開放する。	今後の検討や運営の参考にさせていただきます。
	P17L1 生涯学習機能検討図 L3 蔵書数最低10万冊	・図書館機能に関しては、根本的な見直しを希望。 ・現在ある蔵書も殆どは借りられていない=必要とされていない。 ・全国的に書店が潰れ、出版業界もゲームにシフトチェンジしている中、紙媒体を増やすことは時代に逆行している。負の遺産。	今後の検討や運営の参考にさせていただきます。
	P18L7 ②施設維持管理 L10 ③環境や低炭素社会	・ZEBに賛成。図書館の敷地を大幅に削減する事で、規模はコンパクトにするが、施設自体は最新式にする。「中条共創の森のオープンイノベーションラボ」を参考にし、敷地面積では無くそこにお金をかける。	今後の検討や運営の参考にさせていただきます。
P18L16 ⑤安心安全の確保	・防犯カメラの設置を。不特定多数が入り出す、子どもや女性や学生の利用が多い、本の盗難がある、等の理由から。実際に、女子トイレ盗撮事件や学習室不審者事件が起き、警察からも防犯カメラ設置を勧められている。同時期に不審者が4~5人目撃されている。現代では、安全のためには、防犯カメラの設置は必須。設置すれば警備員などの人件費を削減できる。	今後の検討や運営の参考にさせていただきます。	

No.	該当箇所	提出されたご意見	胎内市の考え方
	P19L2 延床面積 4000 m ² P20 建設候補地 P20L2 事業費 45 億円程度 L9 8 予算 効率化と縮小化 コスト削減	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館機能面積をギュッと縮小すれば、ぶれすば周辺で十分。 ・イベント時の駐車場混雑はあるが、イベントはそもそも休日が殆ど、公民館利用は平日が殆ど、図書館利用者は少數。そもそも、イベント時にぶれすばの駐車場が満車となったことが過去にあるのか？ ・年々温暖化に伴う、光熱費などの維持費を考慮する。今の若者に将来、財政負担が大きく圧し掛かると、益々、人材が流出してしまう。 ・嘉平山は何より経費が掛かり過ぎ。インフラ整備に掛かる財源を市内全域の水道管交換に充てて欲しい。耐久年数を超えるため。また、嘉平山は熊が出る。危険。利用できなくては、元も子もない。 	今後の審議会での審議の参考にさせていただきます。
	P23L4 審議会を設置 「有識者の選定」	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化に伴う経済的な問題点や、過疎化及び税収減の町の生き残り戦略に詳しい人。 ・移動図書館や電子書籍レンタルに詳しい方。 ・図書館や公民館に詳しい人は遠慮したい。アレもコレもと提案されても現実的ではない。 ・胎内市の現状を理解し、将来を見据えられる人。 ・人口減少や図書館利用者 0.1% の現実をきちんと考慮できる人にお願いしたい。 	さまざまな視点から建設的な審議が行われるよう、適切な人選を行います。
	「公募委員」の選定	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の声を聞くことが大事だが、要求が強すぎると、話し合いが平行線を辿る懸念がある。 ・「とにかく嘉平山に反対！」の一点張りの人も遠慮したい。具体的な理由や方向性を示せる人。 ・少子高齢化を念頭におき、定額読み放題や電子書籍化などのネット社会にある程度通じており、昨今の気象状況や日本の経済動向の知識を持ち合わせた、将来を見通せる、広い視野を持った方を選定して欲しい。 	応募理由を踏まえ、属性が偏らないよう、適切な人選を行います。
7	P19 5 建設候補地 公共交通機関としてはデマンドタクシーの活用を想定していますが、大多数の施設利用者は市内各地から自家用車で来館することが見込まれるため、幹線道路からのアクセスが容易で、まとまった台数の駐車場が確保できることが条件となります。	<p>コンセプト等は大変に良いと思いますので、早急に進めていただくことを希望します。</p> <p>この記載ですと徒歩や自転車等、車以外でお越しになる方への配慮がなされていないので、そういった視点は必要ないか？と思います。是非こちらも考慮してもらいたいと思います。よろしくお願い致します。</p>	今後の検討や運営の参考にさせていただきます。
8	P1 胎内市の現状・人口の推移	国立人口問題研究所の推計によりますと 40 年後の 2065 年には胎内市の人口推計は約 14,000 人になっております。公共施設のあり方について、あらためて将来を見据えた慎重な検証・検討が必要なこと、さらには P13 にて記されておりますように、人口推計、持続可能性、可能な限りコンパクトな施設の実現等に共感致します。	今後の検討や運営の参考にさせていただきます。
	P10 整備方針	新たな生涯学習施設が利用できるようになりましたら、現在の中央公民館は現在の図書館をもうしばらくの間、公民館として活用（移設）される考え方があつていいように存じます。その上で胎内市の運営経費の適正化、施設の重複を避けるため、将来、現在の中央公民館の建物は無くしてよいと判断致します。	今後の検討や運営の参考にさせていただきます。
	P12	本計画でも示されておりますように周辺環境の保全・調和の取組を宜しくお願い致します。	今後の検討や運営の参考にさせていただきます。

No.	該当箇所	提出されたご意見	胎内市の考え方
	配置計画 ②周辺環境の保全・調和 ③利用者の動線	先回の意見公募でもお願いしましたように、胎内市役所、産業文化会館の周辺・駐車場の望ましい緑化形態はもとより、黒崎市民会館の駐車場の緑化形態も大変素晴らしいと思います。是非、ご検討を希望致します。	
9	19 ページ 5 建設候補地 「加えて胎内市立中学校準備委員会における検討内容との整合性を図りながら」との記述の部分	中学校準備委員会では4中学校の統合について検討されているわけですが、生徒数が減少する前に小学校の児童数が減少することから、小学校の配置についても記述するべきではないでしょうか。	学校に関しては、担当部署と情報を共有させていただきます。
	20 ページ 建設候補地の比較表	5候補地のほかに胎内小学校も加えるべきではないでしょうか。その理由としては、上記のことから胎内市小学校を中条小学校へ統合し、胎内小学校の敷地・校舎を活用することによってすべての項目がクリアできるのではないかでしょうか。	学校に関しては、担当部署と情報を共有させていただきます。
10	P19 5候補地の5、6行目 「屋外には～広場」	今どき、熊出没が各地で聞かれている。山の中の嘉平山は危険！絶対にやめるべき。犠牲者が出たら責任は誰がとる。申し訳ないではすまないですよ。そのような危険性のある所へは行かないようになる。嘉平山以外で候補地を検討すべし。	今後の検討や運営の参考にさせていただきます。
	P20 比較表	→中央公民館周辺を推します。統合中学の候補地になるような記述があるが、現中条中学校程度の規模で十分ではないか？あそこは7クラス規模の校舎なのだったから。 「○行目」まで記入させるのであれば、資料に行数字をつけるべきではないか。そちら側も数えるのが大変でしょう。	今後の検討や運営の参考にさせていただきます。 学校に関しては、担当部署と情報を共有させていただきます。
11	P10 1 コンセプト 2 行目 子どもから高齢者まで、地域の多様な人々が集い～	新たな生涯学習施設の整備方針（案）は大幅な修正が行われている。 ★ただし現在胎内市が置かれている諸条件を考えると、この事業の実施にあたってはさらに根本的な見直しをすべき課題がある。例えば財政面、年齢構成、人口変化（推移）などを踏まえた政策の優先順位付けとそのバランスが必要である。	今後の検討や運営の参考にさせていただきます。
	4 行目 図書館、公民館、交流スペースを一体的に整備し～		
	P10 2 整備方針 9～11 行目 新たな施設が中心市街地以外に建設される場合～	「中条地区においても他の地区と同様に現在の中央公民館や図書館が担っている施設の機能（役割）は～ 引き続き維持していく方針～」 ★維持していく方針にという言葉だけで終わっている。具体的な内容が何も示されておらず、判断材料にならない。むしろ二重投資を危惧させる。	現在の中央公民館および図書館のその後の取り扱いについては、新たな生涯学習施設整備計画に直接関連するものではありませんが、パブリックコメント等で「徒歩で行ける場所に建設を」というご意見も寄せられました。このため、すべての市民を対象とした施設である本基本計画（案）の意図が十分に伝わっていない部分があると認識し、補足として新たに説明を加えました。具体的な内容については、今後の検討状況を踏まえ、お示していきます。
	P11 防災機能強化 1～3 行目 自然災害への備えについて学び～防災教育の拠点として～	★自然災害に対する防災教育は必要であるが、この新しく建設する施設に必ず必要とは思わない。あれもこれも機能を付け加え過ぎている。切り離して検討すべきである。	今後の検討や運営の参考にさせていただきます。
	P12 III 施設計画 1. 配置計画①、②、③ ③利用者の導線「～多くの利用者が自動車で来館～公共交通機関としてデマンドタク	★利用者の導線として「自動車、デマンドタクシー」を想定しているが、候補地によっては季節、利用目的、利用時間帯、まして高齢者などを考えれば、市街地を外れた施設の利用は、きわめてハードルが高くなる。	今後の検討や運営の参考にさせていただきます。

No.	該当箇所	提出されたご意見	胎内市の考え方
	シード～」 P20 建設候補地の比較表	<p>5か所の建設候補地を各項目にわたって比較している。</p> <p>★この記述でいくつか指摘すべき点がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. この中になぜ中学校統合を入れるのか ②中央公民館周辺に「統合中学校の建設予定地となる可能性」という言葉が三項目（評価を含め）入っている。しかし比較には公正さが必要である。可能性という表現ではあるが、なぜこの段階（パブリックコメント資料）で入れたのか疑問を持つ。しかもデメリットを示唆している。中学校は1校へ統合する考え（方針）で現在統合準備委員会で検討中で今年度末答申の予定と聞いている。その結果がどうであろうと、予見を以て比較項目へ入れるべきではない。 2. 各候補地の事業費が入っていない 第1回のパブリックコメントの当該基本計画（案）には嘉平山を候補地として事業費45億円を示した。ここには土地の整備、インフラなど全くゼロからの投資が必要である。 それに対して市民の多くから納得と共感を得られず、あわせて市長選の争点の一つとなり、計画（案）の修正となったものと理解している。そうであれば今回の比較表に各候補地の事業費（概算）も入れるべきである。 私は第1回パブリックコメントに候補地は②中央公民館周辺を提案した。あわせて、予想事業（建設）費算定公表し、比較再考すべきだと言う意見を記載している。 3. アクセス・利便性について 嘉平山とプレスボ以外は、「出入りに渋滞が生じやすい」「安全確保」が重要としている。私が提案する中央公民館の周辺は用地買収（畠や人家）が比較的容易と考えられる。つまり駐車場の確保、そして入り口道路は産業道路（通称）側からとすればよい。 4. 中央公民館周辺は整備方針に適合する さらに今回のパブリックコメント用「生涯学習施設整備基本計画（案）」の新たな同施設の整備方針、そのコンセプト（p10）にうたっている図書館、公民館を中心とする役割は十分果たすことが出来る。 	<p>あくまでも統合中学校の候補地の一つとなっていることをお示ししたものであり、万一重複が生じた場合には、敷地の確保が難しくなる可能性があります。今後、胎内市立中学校統合準備委員会での検討内容と整合を図りながら、適切な情報共有を行いながら検討を進めていきます。</p> <p>また、概算事業費は、基本構想に基づき、施設に必要な諸室・スペースの面積を積み上げて算出した延床面積に基づいています。建設費の内訳には、設計費、工事費、システム構築費、備品費など、すべての関連経費が含まれており、今後の物価上昇も考慮した上で算出した合計金額（上限）となります。したがって、建設地がどこに決定しても、市長選云々は関係がなく、本概算事業費もその最大値とし、設計者のアイデアや提案を取り入れつつ、効率化や縮小化を図り、可能な限りコスト削減に努めています。</p> <p>その他については今後の検討や運営の参考にさせていただきます。</p>
-	総括 市の財政力の現状と将来を見据えた政策を望む ★前回のパブリックコメントに述べたことと重なるが、この事業計画（案）とその変遷（経過）を見て、次のことを述べたい。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市政として取り組むべき課題はその自治体の置かれた諸条件（地理、歴史、自然環境、産業、人口など）の制約がある。しかしながらその限られた中で、短期と長期的観点から選択が迫られる。短期的には取り組むべき課題の優先順位を明確にすること。それに付随する財政的裏付け（精査）はもとより費用対効果の予測とその後の評価が欠かせない。 2. また大都市は別として、ほとんどの自治体が人口減少（他の地域へ流出や高齢化など）に苦慮している。当胎内市に定住を決意させる施策として重要なことは、福祉、医療、教育にあるのではないか。クルマ社会においては勤務地への距離が拡大し、しかも情報の入手とそのスピードが進んでいるので上記3条件の拡充で他の市町村より優位に立てる方法を模索すべきである。 	今後の検討や運営の参考にさせていただきます。

No.	該当箇所	提出されたご意見	胎内市の考え方
		<p>従って財政運営においては新しい箱もの建設事業は積み上げ方式ではなく、機能はギリギリの必要条件とすべきである。しかも施設の維持管理費用は必ず付いて回る。</p> <p>以上の理由から、候補地の選定においては当初嘉平山で試算した事業費 45 億円という数字をどこまで減らせるかを第一目標にすべきであり、総合的にみても建設地は②中央公民館周辺あります。</p> <p>以上</p>	

○提出ご意見数：13件（うち基準を満たさないため回答をしない取り扱いとしているもの 1件、匿名 1件）

※提出ご意見数はご意見提出者数としています。